

優秀賞

キャッチフレーズ

街中の井のある暮らし～自然と共に生きる家族～

応募者

施工者：岡庭建設株式会社 TeamA
代表取締役 岡庭伸行
設計者：岡庭建設株式会社一級建築士事務所
池田浩和 安井敦子

建物概要

建築面積 67.26㎡
延べ面積 113.85㎡ (1階 59.62㎡ 2階 54.23㎡)

設計趣旨

慣れ親しんだ地域で建て替えの家。もとの家よりもサイズを小さくし庭を広く取ってます。暮らしの中に自然を取り込むということ、緑と木のある風景を街に提供したいという住まい手の想いから、内外の空間の繋がりや、地域に開くということを考えた家となっています。内部は国産の材にこだわり、軸組は多摩の木で作っています。ご家族で沢山の木をお持ちで、随所に本を収納する場所があり、その場所は図書館なみの重さを想定して構造設計を行っています。その重さをしっかりと支える梁を仕上げで覆わず、美しい杉の木目をそのまま露しています。内部の木部と外の緑が調和し安らぎの空間となっています。共働きで忙しいご夫婦は、当初簡単にすっきりと収納するために多くのクローゼットを要望されていました。それでも引越しの際に、収納があるとそれだけ要らないものが増えてしまう事を実感された奥様より、収納を減らし自分の把握できる量で住みたいとの思いを伝えられ、シンプルなプランとなりました。街中の井のある暮らしとは、家のサイズも持ち物も自分たちにとって必要なだけを望み、庭や家の外観は自然や街並みに開くという謙虚な佇まいの家です。

各階平面図



外壁はメンテナンス性を考えてガルバリウム鋼板を採用しています。そこに板金職人が邸毎の形状や雨仕舞に知恵を注ぎ、技を活かして丁寧に折り上げて造っていきました。ボリューム感のあるファサードに、木と緑を魅せることで優しい表情となっています。高いコンクリートの塀を撤去して、木塀は敢えて低めにし、街並みに受け入れられるような柔らかい印象の囲いとししました。今では緑が育ち、すっかり街の風景となっています。



キッチンとダイニングの間に配置したワークスペース。調べものを行いながらも、家事に気を配ることができます。作業に一区切りついたときにそっと視線を上げると北側に開いた窓からは緑が見えます。ここから見える緑は隣の家の借景。この風景に心が和むそうです。



リビングには多摩産の太い構造材が堂々とした存在感で姿を表しております。凛々しい姿と木のぬくもりが、家族を安心感で包み込みます。※認定長期優良住宅取得



庭には建築当初から構想のあった、ビオトープ。家族が自然を愛するように、自然も家族を信頼しています。丁寧に手を加え、小さな動物たちが安心して集う場となっています。



地面に近い和室の窓は、夏には自然の土の上と抜け健やかな風を室内に取り入れます。障子を閉めれば、木漏れ日の淡い光が眼と心を落ち着かせてくれます。